

地域医療連携だより

えん

発行日：令和5年10月 発行所：富山赤十字病院 富山市牛島本町2丁目1番58 TEL. 433-2492 発行責任者：時光 善温

総合内科のご挨拶

総合内科部長兼糖尿病・内分泌・栄養内科部副部長 川原 順子

地域の先生方、日頃よりご指導ありがとうございます。総合内科には1ヵ月に2件ほどご紹介頂いています。多くの病院・診療科の中から選んでいただいたことに感謝しながら、患者さんの診察にあたっています。

現行の研修制度では、卒後3～5年目の基本領域として19の領域が挙げられています。内科、外科、小児科とならび、総合診療が第19番目に認定されました。関連学会や専門医機構が提示する「総合診療のあり方」では、深く狭い専門領域に入り込まずに疾病や困りごとに広く対応する、専門医や地域の医師とスムーズな連携をとる、多職種と協働して診療チームをまとめていく、予防医学や老年医療にもたずさわる、そのような医師像が描かれていました。人口の高齢化、一人の患者さんが数多くの疾病を有するmulti-morbidityの状況で、総合診療マインドはますます重要になってくると思われま



今年の夏、富山赤十字病院に3名の学生さんが総合内科の見学に来ました。「将来、開業して地域の活性化にもたずさわりたい」、「社会人経験を活かして住民の健康増進に貢献したい」という明確な目標を持っておられました。「多くの症例を経験し早く一人前になりたい」と願い、富山赤十字病院を研修病院の候補として考えてくれていました。このような若い人たちと是非一緒に働きたいと思いました。数年の研修の先、彼らがかかりつけ医になれば病診連携の太い架け橋となり、病院勤務医という道を選べば患者さんを初診から専門医につなげて専門医をバックアップするホスピタリストとして活躍するでしょう。それを夢想するだけで楽しくなります。

私事ですが、内分泌代謝・糖尿病内科の専門に加えて、病院総合診療医学会の特任指導医を取得しました。近日中に施設認定（富山県初）がなされる予定です。もちろん、資格取得で診療の質が劇的に向上するわけでもないのですが、必要なのはマンパワー、まずは当院に総合内科があることを知らせ、同じ志をもつ人とつながりたいと思います。それにはある程度目立たないと・・・、趣味と実益をかねた作戦を予定しています。



先生方が「患者さんを紹介してよかった」、患者さんが「紹介してもらってよかった」と思っていただけのように、これからも努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

第83回地域医療連携の会

令和5年9月7日(木)午後7時より、ANAクラウンプラザホテルにおいて「第83回地域医療連携の会」を開催いたしました。開業医の先生方61名、当院の医師・看護師等79名、総勢140名の参加がありました。富山県厚生部 有賀部長、富山県医師会 村上会長、富山市医師会 舟坂会長より来賓のご挨拶を賜り、金沢大学医薬保健研究域医学系循環器内科学 教授 高村雅之先生をお迎えし「心不全の病態～病診連携を含めて～」と題してご講演をいただきました。

引き続き行われた懇親会では当院医師、コメディカルで構成された豊赤バンド3名の演奏が披露されました。地域の先生方との楽しいひと時を過ごさせて頂き、地域医療連携の輪もより一層広がったように思います。

来賓のご紹介



来賓挨拶 富山県厚生部
部長 有賀玲子先生



来賓挨拶 富山県医師会
会長 村上美也子先生



来賓挨拶 富山市医師会
会長 舟坂雅春先生



懇親会 乾杯挨拶 よしだ医院
院長 吉田 誠先生



豊赤バンド ベース : 村上(当院施設管理)
トランペット : 橋本(当院整形外科医師)
ピアノ : 藤井(当院検査技師)



おいしい食事に会話も弾み、
和やかな雰囲気にもなりました。



富山赤十字病院
患者支援センター長 時光善温



患者支援センタースタッフ一同

心不全の病態 ～病診連携を含めて～

令和5年9月7日に開催された『富山赤十字病院：第83回地域連携の会』において、金沢大学医薬保健研究域医学系循環器内科学 教授高村雅之先生による講演『心不全の病態 ～病診連携を含めて～』が行われました。講演では、心不全の基礎的な病態や概念の説明から、心不全に対する最新の治療内容まで包括的にお話していただきました。以下に、高村教授にご講演いただいた内容を簡潔にまとめてお示しいたします。

昨今の社会の高齢化に伴い、心不全患者さんは増加傾向にあります。NYHA Ⅲ度の心不全患者さんは5年で約半数の人が亡くなるとされており、心不全はもはや良性疾患ではありません。心不全は急性増悪を繰り返す度に病態が進行するため、その進行を防ぐためにはなるべく心不全の急性増悪をさせないことが大切です。そのためには、BNP > 100 pg/mLまたはNT pro BNP > 400 pg/mLの場合は早めに循環器専門医へコンサルトすることが望まれます(地域のクリニックと総合病院との病診連携)。また、左室駆出率の低下した心不全患者さんに対する薬物治療ではまずβ遮断薬と



金沢大学医薬保健研究域医学系
循環器内科学
教授 高村雅之 先生



SGLT2阻害薬を導入して、その後に段階的にARNIとMRAを導入して行きましょう。更に、内服薬を継続することが非常に重要であり、そのためには患者さんへの啓蒙が大切です。心不全の非薬物療法としては、両室ペーシング、TAVI、MitraClipなどの有効性も示されていますが、これらの侵襲的な治療以外にも心臓リハビリテーション、栄養管理などを含めて、多職種による心不全患者さんへの包括的な介入が重要です。多職種による介入が多いほど心不全

患者さんの入院率や死亡率が減少することが科学的に証明されています。心不全-地域連携パス手帳も活用して、『心のこもった、心不全治療をクリニックの先生方と総合病院の循環器関連スタッフが一緒になっておこなって行きましょう』

追記：富山赤十字病院 循環器内科では、心不全患者さんの詳細な情報をクリニックの先生方と共有できるように、当院オリジナルの心不全管理表を作成しております。患者さんが退院された際に、診療情報提供書とともに同封してお送りしておりますので、クリニックの先生方にはぜひとも診療時に御利用いただければ幸いです。



文責：循環器内科部長 賀来 文治

術後疼痛管理チームが始動します

第3麻酔科部長 南 雅美

手術を受ける患者さんにとって、術後の疼痛が一番の心配事でしょう。一昔前は医療者も患者さんも「術後は痛いのが当たり前で、痛みは我慢するもの」と考える人が多く、さらに鎮痛薬の副作用への懸念から投与量が不十分になる傾向がありました。最近は疼痛管理の方法も進化し、複数の異なる鎮痛法を組み合わせるmultimodal analgesia(多角的疼痛管理)が主流となっています。麻酔科では硬膜外鎮痛に加え、腕神経叢や大腿神経などの末梢神経に対しての持続神経ブロック、麻薬の持続的静脈内投与、非麻薬性鎮痛薬の定期投与など様々な鎮痛方法を組み合わせ、術後の痛みの緩和を図っています。術後痛に対して十分に痛みをとることは、食欲増進や離床の早期化、呼吸不全や術後せん妄の予防、患者さんの満足度の向上などの効果があります。



手術室でのカンファレンス

術後の痛みや嘔気などの副作用を軽減するため、当院では2023年10月から術後疼痛管理チームが活動を開始します。麻酔科医と特定の研修を受けた薬剤師2名、看護師4名がチームとなり、術後の患者さんの疼痛管理を行います。全身麻酔で手術を受け、術後に硬膜外麻酔や神経ブロック、麻薬の静脈内注入を持続的に受けている患者さんを対象として、術後3日間、チームで回診し疼痛管理を行います。複数の業種のスタッフが参加することで、患者さんに迅速できめ細やかな対応ができ、患者さんの安心感や満足度が高まることを目標としています。



術後疼痛管理チーム

患者さんに安心・安全な医療が提供できるよう、チーム一丸となって診療に取り組んでいきますので、今後ともよろしく願いいたします。



やすらぎの会 & クロスサロンとやま ご案内

やすらぎの会は、講師によるミニレクチャーや交流会があります。がんの様々な情報や療養方法を知ることができます。クロスサロンとやまは、交流会がメインの会です、闘病中の生活のヒントや病気との向き合い方などいろいろなお話をすることができます。

*当院通院中でなくても参加可能です。予約不要です。

10月18日(水) 病院3階講義室

- 14:00～14:30
「乳がんについて知ろう」
講師：外科医師 渡邊 和英
- 14:30～15:00 交流会
*アピアランスケアについてミニレクチャーがあります



11月15日(水) 病院3階講義室

- 13:30～14:00
「がんに負けない体をつくろう～食事編～」
講師：管理栄養士 仲町 恵里花
- 14:10～15:30 クロスサロンとやま
*ピアサポーターによるサロンです



12月20日(水) 病院3階講義室

- 14:00～14:30
「がんに負けない体をつくろう～運動編～」
講師：作業療法士 安達 竜矢
- 14:30～15:00 交流会



1月17日(水) 病院3階講義室

- 13:30～15:30
クロスサロンとやま
*ピアサポーターによるサロンです



2月21日(水) 病院3階講義室

- 14:00～14:30
「がんまつわるお薬について知ろう」
講師：薬剤師 堀川 貴大
- 14:30～15:00 交流会



3月13日(水) 病院3階講義室

- 14:00～14:30
「緩和ケアと療養を支える仕組みを知ろう」
講師：愛宕・安野屋地域包括支援センター
黒田 雅美
- 14:30～15:00 交流会



★お問い合わせは：富山赤十字病院がん相談支援センター ☎076-433-2222(代)

『診察案内表示盤システム』を導入致しました

「皆さまの声」でご要望のありました、診察案内表示盤を外来受付前、及び待合室に設置致しました。ディスプレイには現在診察中の方、まもなく呼び出しできる方の受付番号を表示致します。診察の待ち時間を、少しでも有意義にご利用いただければと思います。



11月、12月の外来診療に関する医師不在日案内

11月

科名	医師名	不在日
眼科	辻屋 壮介	6日(月)、20日(月)
脳神経外科	桑山 直也	24日(金)AM
小児科	足立 雄一	10日(金)、17日(金)
	仲岡佐智子	8日(水)AM
呼吸器外科	宮津 克幸	2日(木)、7日(火)
外科	竹原 朗	7日(火)PM、10日(金)
	青木 竜也	17日(金)
耳鼻いんこう科	赤荻 勝一	27日(月)
内科	黒川 敏郎	16日(木)
	川原 順子	10日(金)
高令心療科	殿谷 康博	10日(金)

12月

科名	医師名	不在日
眼科	辻屋 壮介	28日(木)
小児科	津幡 眞一	28日(木)
耳鼻いんこう科	赤荻 勝一	13日(水)
内科	川根 隆志	20日(水)
	岡田 和彦	20日(水)
	田畑 和久	18日(月)、20日(水)PM
泌尿器科	山本 篤	8日(金)、11日(月)、12日(火)

※不在日には、代診を立てております。

患者支援センターからのお知らせ 「第84回地域医療連携の会」

日時：令和5年11月30日(木) 午後7時から
場所：富山赤十字病院 教育研修棟 3階講堂
演題：◇小児科 「アレルギー診療Up To Date」
小児アレルギーセンター長 足立 雄一
◇血液内科 「関節リウマチと悪性リンパ腫」
第2血液内科部長 望月果奈子



※みなさまの参加をお待ちしております。
感染防止対策を十分に行った上での開催となります。ご理解・ご協力の程よろしくお願ひ致します。

新任医師紹介

どうぞよろしく
お願いします。



脳神経外科
医師 城 泰輔



内分泌内科
医師 上岸 未樹

編集後記

色彩あふれる紅葉の美しさに心弾む季節となりました。
色鮮やかになる景色を見てのんびり散歩したいと思いますが、歩けるようになりどこでも行ってしまふ我が子を追いかけている日々です。

7月より患者支援センターに配属になりました助産師の藤井です。

患者支援センターに配属となり、地域の医療機関と連携して患者さんやご家族を支援していく大切さを改めて感じております。今後は助産師として周産期に特化するだけでなく、女性のライフサイクルに寄り添い、患者さんやご家族が安心して、その人らしく療養生活を送れるように支援していきたいと思ひます。まだまだ不慣れなことが多く、ご迷惑をお掛けすることもあると思ひますが、よろしくお願ひいたします。

(患者支援センター 助産師 藤井 奈央)



紹介依頼など、下記までお問い合わせください。

富山赤十字病院
患者支援センター

TEL : 076-433-2492 FAX : 076-433-2493

e-mail : byousinrenkei@toyama-med.jrc.or.jp

夜間・休日のお問い合わせは…TEL : 076-433-2222(代表)

Fax : 076-433-2410(夜間・休日のみ)